

授業概要

科目名	高次脳機能障害学Ⅲ				授業の種類	演習	講師名	杉本 彩乃
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	ST2年 前期
【授業の目的・ねらい】 高次脳機能障害の評価と訓練について症例検討を含めた演習を通して臨床に向けた基礎的な知識と技術を身につける。								
【実務者経験】 言語聴覚士として半田中央病院に勤務し、成人分野の急性期から慢性期までのリハビリに従事する。								
【授業全体の内容の概要】 言語聴覚士の業務に関わる知識、技術を習得する。								
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 STADの実施、解釈ができるようになる。SLTAの解釈ができるようになる。 脳について理解できるようになる。								
回数	講義内容						準備物(教材)	
1	STAD、スクリーニング、ラポール形成について理解できる。						STAD	
2	STAD項目1～4について理解し、演習する。						STAD	
3	STAD項目5～8について理解し、演習する。						STAD	
4	STAD項目9～12について理解し、演習する。						STAD	
5	STAD項目13について理解し、演習する。						STAD	
6	STADの臨床応用について理解できる。						STAD 配布資料	
7	SLTAのプロフィールを作成する。						配布資料	
8	SLTAの解釈について理解できる。						配布資料	
9	SLTAの解釈について理解できる。						配布資料	
10	SLTAの解釈について理解できる。						配布資料	
11	脳の機能について理解できる。						配布資料	
12	脳と感情について理解できる。						配布資料	
13	記憶について理解できる。						配布資料	
14	記憶について理解できる。						配布資料	
15	総復習						STAD 今までの配布資料	
定期筆記試験								
【使用教科書・教材・参考書】 言語障害スクリーニングテスト（STAD） なるほど！失語症の評価と治療 検査結果の解釈から訓練法の立案まで								
【準備学習・時間外学習】 指定教科書の予習と、講義後の復習を行うこと。								
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。								